令和６年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」実績報告関係様式

都道府県名	01_北海道
市区町村名	01395ニセコ町
自治体区分	都道府県

●R6年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	これまでの取組状況	左記課題の解決のために令和6年度に実施する具体的な取組	本事業で達成する目標（アウトカム）	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析（事業における成果、課題、改善点等）	目標等の公表先
01395ニセコ町	③学校と家庭の課題	02 放課後等における多様な体験活動	町に外国人の住民やオーバーツーリズムと言われるほど外国人観光客が増える中で、町の教育目標である町民の多文化理解能力、コミュニケーション能力を図り、その中でもとりわけ国際理解をすすめることが課題となっている。	・放課後子ども教室のスタッフを配置し、年間70回程度の教室を開講する。 ・放課後子ども教室では、ニセコ町の特色を生かし、子どもの多文化理解能力の向上に資するような内容のレクを国際交流員と連携し実施する。	国際交流員と連携し、他国へ興味がわくようなゲームや、実際に外国籍の大人と一緒にレク（Eタイム）をすることにより、身近に海外を感じることができるよう事業を行う。	子どもの多文化理解能力が向上するよう、身近に海外を感じることができる機会を持続的に設けることで、児童が国際理解へ興味を持つことができる。	アンケート調査等において、日本と海外の違いや日本以外の国に興味があると答える児童の割合（年度当初と年度の最後にアンケートを取り、割合を比較）		%	20	65	03 本年度の目標値を達成し、課題の改善が見られた	・アンケートを実施した結果、年度当初は46%だった他国への興味も、年度末に行ったアンケートでは65%に伸び、国際交流員が全19回にわたって行った「わくわく交流」の効果が感じられた。 ・半数以上の児童が他国に興味を抱いており、自身の好きな国もそれぞれあることが分かった。 ・小学校の全学年で、日本と他国を比較して他国に興味があると答えた子が多かった（食べ物や暮らし方、音楽等の文化）。 ・ニセコ町という土地柄、クラスに必ず一人はハーフもしくは外国籍の友達がいる環境でが当たり前の中にいる子どもたちなので、他国と日本の違いについて抵抗なく勉強できたものと思われる。	https://www.town.niseko.lg.jp/kurashi/kosodate/shogaigakushu/houkagokodomokyousitsu/